

令和2年度 社会福祉法人深谷市社会福祉協議会

事業報告

法人の運営

会務の運営

会議名	年月日	内 容
理事会	2. 6. 5	決議の省略（議決があったものとみなされた事項） 令和元年度事業報告の承認について 令和元年度決算の承認について 評議員候補者の選定について 評議員選任・解任委員会委員の選任について 令和2年度第1次補正予算について 定時評議員会の開催について
	2. 8. 25	決議の省略（議決があったものとみなされた事項） 評議員候補者の選定について
	2. 10. 13	会長及び常務理事職務執行状況報告について 第15回深谷市社会福祉大会について
	3. 1. 29	決議の省略（議決があったものとみなされた事項） 評議員候補者の選定について
	3. 3. 8	給与規程の一部改正について 令和2年度第2次補正予算について 令和3年度事業計画について 令和3年度資金収支予算について 役員等損害賠償補償への加入について 評議員会の開催について
評議員会	2. 6. 25	決議の省略（議決があったものとみなされた事項） 令和元年度事業報告の承認について 令和元年度決算の承認について 理事の選任について 令和2年度第1次補正予算について
	3. 3. 29	令和2年度第2次補正予算について 令和3年度事業計画について 令和3年度資金収支予算について
監事会	2. 5. 15	平成元年度事業及び会計監査
評議員選任・解任委員会	2. 6. 9	評議員の解任・選任
	2. 8. 26	評議員の解任・選任
	3. 2. 1	評議員の解任・選任
地区社協会長等会議	2. 4. 3	日赤深谷市地区協議会
	2. 8. 17	赤十字活動資金について
	2. 8. 17	赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金について

## 会員加入促進

- ・活動財源の確保のため、自治会をはじめとする地区社協にご協力いただき、会員募集を実施しました。

地区名	普通会員口数	特別会員口数	地区名	普通会員口数	特別会員口数
深谷	4,267	195	藤沢	2,753	41
幡羅	4,480	64	明戸	1,258	31
大寄	1,296	8	八基	1,081	28
豊里	1,457	37	上柴	4,170	37
南	3,342	46	岡部	4,523	94
川本	3,364	78	花園	3,760	24
			合計	35,751	683

法人会員 209口

団体会員 121口

## 地域福祉推進事業

### 小地域福祉活動の普及（ふれあいいきいきサロン）

- ・ふれあいいきいきサロンの運営に必要な財源として助成金を交付するとともに、ふれあいいきいきサロンを行う際に使用する備品の貸し出しや、サロン応援隊の派遣調整を行いました。

サロン数：40ヶ所、開催回数：114回

[内訳]

地区名	サロン数	開催回数	地区名	サロン数	開催回数	地区名	サロン数	開催回数
深谷	6	18	藤沢	6	16	幡羅	6	10
明戸	1	1	大寄	2	3	八基	1	3
豊里	1	1	上柴	5	24	南	2	12
岡部	0	0	川本	5	12	花園	5	14

### ふれあい映画鑑賞

- ・ひとり親家庭の親子、障害者の親子、障害者施設に入所・通所している障害者に対して、映画無料招待券を提供しました。

実施期間：令和3年2月1日～令和3年3月31日

場 所：深谷シネマ

上映作品：上記実施期間中に上映された全作品

利用者：10名

### 地域福祉推進事業（地区社協への助成）

- ・地域住民の相互の連帯に基づいた地域ぐるみの福祉活動に対し、地区社協への助成を行いました。

内 容：各地区社協へ100,000円の助成

## 屋内ゲートボール場の管理・運営（すぱーく深谷、すぱーく岡部）

- ・高齢者をはじめ、住民の生涯スポーツの振興やコミュニケーションの場を提供する多目的施設として市内の屋内ゲートボール場を管理・運営しました。

	日数	件数	利用人数
すぱーく深谷	155日	226件	3,302人
すぱーく岡部	143日	184件	2,784人

## 善意銀行（ペットボトルキャップ回収）

- ・市内の学校・企業等にご協力いただき集めたペットボトルのキャップを売却し、売却益を財源として、学校の備品整備やふっかちゃん子ども福祉基金への寄付を行いました。

売却益：34,472円

整備品等：川本中学校：コードリール、モップ

協力団体：学 校：29、福祉施設・企業：75、道の駅：2

公民館：11、公共施設：4

## 在宅福祉サービス事業

### 有償家事援助サービス

- ・市民の協力（協力会員）により、日常生活の「ちょっと困った」を支援するサービスとして実施しました。

登録協力会員数：71名（実働可能者数：71名〔内実働者数：15名〕）

登録利用会員数：203名（実利用会員数：24名）

延活動件数：880件

利用料金：450円／30分

### 訪問理美容サービス

- ・在宅生活を送り、心身の障害及び疾病等の理由により、理美容院へ行くことが困難な方を訪問し理美容サービスを提供しました。

協力店数：68店

申請者数：113名（内利用者数：36名）

利用回数：延190回

### 寝具洗濯乾燥消毒サービス

- ・在宅生活を送り、心身の障害及び疾病等の理由により、寝具の衛生管理が困難な方に、寝具の水洗い及び乾燥消毒を提供しました。

申請者数：35名（内利用者数：28名）

利用回数：延90回

## 敬老交通安全杖支給

- ・高齢者の交通安全を願って、歩行者用の杖を支給しました。

支給者数：490名

## 小・中学生による年賀状送付

- ・ひとり暮らし高齢者に対して、小学生・中学生による年賀状を送付することにより、高齢者への励ましを実施しました。

対象高齢者：1,825名

送付枚数：3,810通

## 安否確認事業

- ・民生委員・児童委員の協力により、月1回のひとり暮らし高齢者への安否確認のため飲み物を持って、一人暮らし高齢者宅の訪問を実施しました。

4月～6月、12月～3月（野菜ジュースを持参） 利用者数：6,399名

7月～11月（スポーツドリンクを持参） 利用者数：6,538名

（5月、6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの地域で中止）

## 福祉用具等の貸出

- ・地域福祉推進のために社協が所有する福祉用具等の貸出をしました。

貸出回数 車いす：47回、高齢者疑似体験セット：7回

アイマスク：4回、点字盤：1回

音響設備：13回（ポータブルアンプ：13回、放送設備：0回）

## 在宅福祉推進車貸出事業（移送サービス）

- ・公共交通機関を利用することが困難な高齢者等の必要に応じ在宅福祉推進車（福祉車両）を貸出しました。

なお、利用にあたり、運転手を確保できない方に対しては、併せて運転ボランティアの派遣・調整を行いました。

利用登録者数 84名（深谷：64名、花園：20名）

総貸出件数 631件 内訳 運転ボランティア派遣 577件

（深谷：385名、花園：192名）

車両のみ貸出 54件

（深谷：54名、花園：0名）

運転ボランティア 25名（深谷：17名、花園：8名）

## 高齢者福祉事業

### 敬老会

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止となりました。

### 地域包括支援センター

- ・住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な支援を行いました。

対象地区：深谷地区・大寄地区

相談件数：687件

内容 介護・日常生活：82件、サービスの利用：618件  
医 療：6件、所得・家庭生活：2件  
権 利 擁 護：0件、認 知 症：16件

ケアマネジャー支援：16件

自立支援型地域ケア個別会議：7件、自立支援型地域ケア会議（中央型）：2件

介護予防支援 直営：延442件、委託：延880件

介護予防ケアマネジメント 直営：延526件 委託：延891件

### 介護保険事業

- ・介護保険法による福祉サービス事業所として2ヶ所の居宅介護支援事業所・訪問介護事業所を運営しました。

#### 居宅介護支援事業所

居宅介護支援	深谷：実人数：183名（延1,455件）
	花園：実人数：103名（延1,042件）
介護予防支援	深谷：実人数：36名（延352件）
（介護予防ケアマネジメント）	花園：実人数：39名（延330件）
要介護認定訪問調査	深谷：実人数：85名
	花園：実人数：41名

#### 訪問介護事業所

要介護者	深谷：実人数：27名（延1,757件）
	花園：実人数：24名（延6,268件）
要支援者	深谷：実人数：26名（延1,460件）
	花園：実人数：4名（延1,244件）

## 生活支援体制整備事業

- ・日常生活上の支援が必要な高齢者等が、住み慣れた地域で、生きがいを持って在宅生活を継続していくための支援体制・体制づくりの取り組みを実施しました。

### 第1層（深谷市内全域）

- 活動内容
- ・ふっかちゃんふれあいギャラリー  
    コンビニに小学生の絵画等を展示し、地域コミュニティの場作り
  - ・医療従事者へ雨合羽を送ろうプロジェクト
  - ・フードドライブ&パントリー
  - ・LINE はじめて講座

協議体の開催 0回

### 第2層（深谷地区・大寄地区）

- 活動内容
- ・サロン参加 5ヶ所
  - ・協議体新聞の作成・配布
  - ・その他、老人クラブ活動等へ参加

協議体の開催 ・深谷地区 1回

## 認知症対策総合支援事業

- ・認知症になっても住み慣れた地域で生活をするために、家族や地域住民が認知症について正しい知識を身に付け、理解を深めることができるよう努めました。

- 活動内容
- ・認知症ケアパスの見直し
  - ・認知症ハンドブックの作成・配布
  - ・『家族のつどい』の開催
  - ・関係機関との連携
  - ・『認知症しんぶん』の作成

## 住民主体の通いの場

- ・高齢者の介護予防、地域の支え合いを目的とした「住民主体の通いの場」の立ち上げ準備、支援を行いました。（深谷地区・大寄地区）

### 活動内容

- ・通いの場深谷ふっかつ体操参加、継続支援（本住町、田谷、天神町）
- ・新型コロナウイルスの影響による休止後、再開に向けての支援（ふっかファイน์フォローアップ研修 2回、再開初回は理学療法士による講義）
- ・立ち上げ準備（西大沼）

## 障害者福祉事業

### ふれあいスポーツ大会への協力

- ・障害がある方とそうでない方のふれあいと、障害への理解を深めることを目的とした、深谷市ふれあいスポーツ大会の運営に協力する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止となりました。

### 手話通訳派遣事業

- ・聴覚障害者の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行うため手話通訳者を派遣しました。

手話通訳者：17名（内訳 専任：2名、登録：15名）

利用者数：50名

派遣件数：774件（内 個人：745件、団体：29件）

派遣内容 医療：460件、生活：275件、教育：6件  
職業：4件、その他：29件

### 手話通訳者養成講座

- ・手話を学びながら、聴覚障害者について理解と知識を深めるとともに、手話通訳ができる人材を養成するための講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から講座はすべて中止しました。

### 障害者作品カレンダーの作成

- ・障害者の創作活動を奨励し、その創作品を幅広く公開することにより、障害者の活動意欲の高揚と社会参加を促進することに併せ、市民の理解と認識を深めることを目的とし作成しました。

作成部数：1,400部

配布先：公民館、市役所、自治会長、民生委員・児童委員、市内福祉施設  
日赤奉仕団、老人クラブ、募金寄付者  
近隣社協、共同募金会、姉妹都市

### 障害児親と子の集い

- ・障害児親子の集いを通じて親と子のふれあいを深めることを目的としてバスハイクを計画実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止しました。

### 障害福祉サービス

- ・障害者総合支援法による障害福祉サービスとして2つの事業所を運営しました。

居宅介護利用件数 深谷：実人数：8名（延789件）

花園：実人数：1名（延521件）

## 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

- ・障害者総合支援法による障害福祉サービスを利用するための、サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行いました。

障害者：実人数：173名（計画作成：149件、モニタリング：296件）

障害児：実人数：13名（計画作成：13件、モニタリング：23件）

## 障害者就労支援センター事業

- ・障害者の一般就労の機会の拡大を図るとともに、身近な地域において就労に関する相談・支援を行いました。

登録者数：374名（内 新規登録者：21名）

就労者数：183名（内 就職者：14名、退職者：23名）

相談件数：延5,088件 内訳 身体障害：83件、知的障害：2,400件

精神障害：1,309件、難病：0件

その他：1,296件

企業への訪問：延1,255件

## 児童福祉事業

### 子ども会育成特別推進事業（地区社協への助成）

- ・子ども会活動を支援すると同時に、地域の中の子どものふれあいの場となる活動を促進するため、各地区社協への助成を行いました。

内 容：各地区社協へ30,000円の助成

## ひとり親家庭福祉事業

### ひとり親家庭親と子の集い

- ・ひとり親家庭の親と子のふれあいの場を作ることを目的としたバスハイクを開催しました。

実施日：令和2年10月18日（日）

場 所：神川げんきプラザ

参加者：16名（6家族）

## 生活福祉事業

### 福祉資金の貸付

- ・低所得世帯を対象に応急的な小口資金の貸付けを行いました。

貸付件数：0件

貸付金額：0円

償還金額：27,000円

## 生活福祉資金の貸付

- ・ 独立自活に必要な資金を低金利で貸付け、自立更生を援助する生活福祉資金（埼玉県社会福祉協議会にて実施）の相談・受付の事務を行いました。

### 通常制度

・ 緊急小口資金	15件	1,013,000円
・ 福祉費	1件	400,000円
・ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1件	

### 特例貸付（新型コロナウイルス感染症関連）

・ 緊急小口資金	799件	156,680,000円
・ 総合支援資金（初回）	665件	356,970,000円
・ 総合支援資金（延長）	297件	160,600,000円
・ 総合支援資金（再貸付）	269件	147,450,000円

## あんしんセーフティネット事業

- ・ 埼玉県社協の主唱により社会福祉法人の社会貢献事業の一環として、社会福祉施設が主体となり市町村社協と協働することにより生活困窮者の生活支援を行いました。

支援件数： 2件

## 福祉サービス利用援助事業

- ・ 認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスに関する相談に応じ、福祉サービスの提供を受けるための手続き及び費用支払のための便宜を図ることにより、地域での自立した生活を送るための支援を行いました。

生活支援員数： 35名

利用者数： 22名（新規契約：5名、解約者数：13名）

支援回数：延351回

相談件数：延320名

## 成年後見サポートセンター

- ・成年後見制度の利用が必要な方が、利用しやすい環境を整えるために以下の業務を行いました。

相談及び利用支援  
問合せ : 97件  
相談 : 54件  
申立支援 : 9件  
その他 : 64件

成年後見制度講演会  
期 日 : 令和2年10月3日(土) 午後1時30分から  
場 所 : 深谷市花園文化会館アドニス 集会室  
講 演 : 第一部 コントと解説  
演題 : 「楽しく学べる成年後見笑百科」  
出演 : ミココロコミック 高橋なんぐ氏・金子ボボ氏  
不幸予防士 渋井 保之氏(元裁判所書記官)  
第二部 講演  
演題 : 「成年後見制度のあらまし」  
講師 : 不幸予防士 渋井 保之氏  
参加者数 : 52名

出前講座 2ヶ所

市民後見人養成講座  
基礎講座(4日) : 受講者 : 9名、修了者 : 7名  
実践講座(3日) : 受講者 : 6名、修了者 : 5名

運営委員会の開催 3回  
検討内容 ・成年後見サポートセンター事業計画について  
・市民後見人養成講座について  
・受任審査・困難事例について  
・中核機関の設置について 他

## 法人後見

- ・今後不足が予想される成年後見制度の担い手として、法人で成年後見人等に就任し、支援を行いました。

受任件数 : 15件(類型 後見 : 4件、保佐 : 7件、補助 : 4件)  
終了件数 : 0件

## 共同募金活動への協力

・共同募金活動の推進により、地域福祉の充実を図るため実施しました。

赤い羽根共同募金運動	戸別募金	9,367,460円
	職域・個人募金	3,409,420円
	街頭募金	49,141円
	法人募金	344,000円
	学校募金	505,698円
	募金計	13,675,719円
	(カード清算額)	1,456,000円
	合計	12,219,719円
歳末たすけあい募金運動	戸別募金	3,774,640円
	街頭募金	35,327円
	篤志募金	1,823,773円
	合計	5,633,740円

## ボランティア活動支援

### 彩の国ボランティア体験プログラム

・「ホッと・アートボランティア」事業

白無地のジグソーパズルに深谷市をテーマにした絵や文字をかき、それを交換し、市内福祉施設利用者と地域住民の交流を図ることを目的として行いました。

参加施設：21施設	170人
一般参加者	130人

### ボランティア・市民活動サポートセンター事業

・ボランティアや市民活動・NPOなど、非営利で公益的な活動をしている方たちや、これから活動を考えている方たちの活動拠点として、サポートを行いました。

活動の相談及び斡旋	件数： 5件	内訳	サロン応援隊： 3件
			社協応援団： 2件

ボランティア団体への助成 助成件数： 2件

講習会の開催 学校支援ボランティア 5回 17人

広報誌の発行 ボランティアだより 毎戸配布45,000部(9・3月)  
ボランティア・市民活動だより「よりそい」  
回覧板(4・6・8・10・12月)

セミナーの開催 LINE はじめて講座(基礎編・応用編) 2回 62人

## 団体支援

### 各種団体事務局

- ・各種団体の事務局を受託し、団体の活動支援を行いました。

深谷市老人クラブ連合会  
埼玉県共同募金会深谷市支会  
日本赤十字社埼玉県支部深谷市地区  
深谷市赤十字奉仕団  
日本赤十字社埼玉県有功会深谷市支会

### 日本赤十字社社資募集活動への協力

- ・赤十字の理想とする人道的任務を達成することを目的とする事業資金の確保と併せて、赤十字事業を支え参加しているとの認識を多くの方々にもっていただくために行いました。

赤十字活動資金実績：8,341,101円  
赤十字特別活動資金実績：2,345,000円

## 広報・啓発活動の促進

### 広報紙「社協だより」の発行

- ・市社協及び地区社協の事業等を広く市民に知らせ、福祉意識向上と社会福祉協議会に対する理解を深めるために発行しました。

発行月：7月、9月、12月、2月、3月  
発行部数：毎戸配布45,000部

### 「社会福祉大会」の開催

- ・社会福祉活動に対する意識向上を図り、活動者への顕彰を目的として開催しました。

開催日：令和2年11月20日（金）  
場所：深谷市ボランティア交流センター  
顕彰：感謝状：個人3名、団体2団体  
表彰状：16名

### 「福祉健康まつり」への参加

- ・高齢者や障害者、児童等が制作した作品の展示会及び即売会を開催し、作品制作意欲と生きがい高め社会参加の場を拡大するとともに、市民の地域福祉に対する意欲を啓発することを目的とし開催されています。（実行委員会体制で開催）

令和2年度におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催は中止となりました。

## 福祉の心を育む交流事業

- ・小中学校と社会福祉施設の間をつなぎ、児童・生徒の豊かな心を育むための交流事業を行いました。

参加小中学校数：29校

参加施設数：18施設

## 実習生の受け入れ

- ・大学生、専門学校生等で、業務体験をとおして、社協に対する理解を深めていただきながら、必要な実習が受けられるよう、実習生を受け入れました。

受入者数：4人 内訳 立正大学：1人

県立高等看護学院：3人

## 職員の資質向上

### 各種研修への参加

- ・職員の資質向上を図り、社協活動を充実させるために各種研修会へ参加しました。

受講職員数：24人

参加研修日数：延 65日

令和2年度 社会福祉法人深谷市社会福祉協議会  
事業報告附属明細書

令和2年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する  
ものはありません。